

信州プレミアムカラマツ

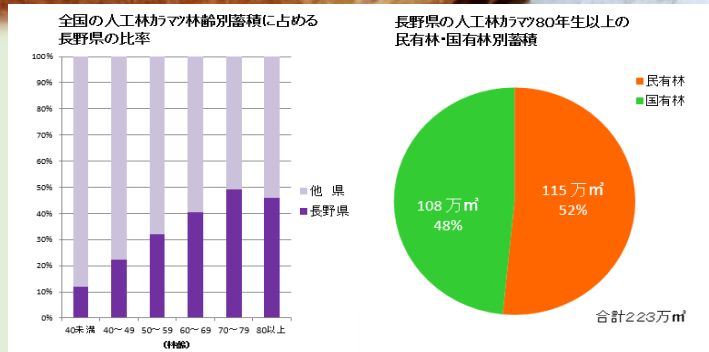
長野県産の林齢80年生以上の高齢級カラマツ人工林から
径級30cm以上の良質な大径材丸太を厳選し
「信州プレミアムカラマツ」と称して供給・販売を開始します。

高齢級カラマツの特徴

- 人工林カラマツは、高齢になるほど木材の性質が安定化し、ねじれにくい成熟材の多い大径材になります。
- スギやヒノキと比べ強度が優れており、心材部分は飴色できれいな木目をいかした無垢材として構造用等の建築材に使用されています。
- 林齢80年生以上の資源量は長野県が国内の45%を占め、全国一の資源量を保有しています。

高齢級カラマツの資源量

- 林齢50年生前後の森林が大半ですが、大正から昭和初期に植栽された人工林から大径材丸太を生産します。
- 今後は**高齢大径材**が安定供給されますので、高品質な製品としての利用を推進します。



信州プレミアムカラマツの供給

- 平成29年度は長野県内から生産される丸太の中から、規格*1に合った材を厳選して、主に長野県各地の原木市場等に供給します。
 - 市場では、のぼり旗によるPRや木口に産地、林齢を表示する外、物件明細にも「信州プレミアムカラマツ」と表示しブランド化を図ります。
- *1：別紙（裏面）の品質・規格です。

時間とともに飴色に



○長野県産カラマツの民有林材の供給・利用に関すること 長野県林務部県産材利用推進室

(室長) 丸山 勝規 (課長補佐) 中宿 恵司 (担当係長) 篠原 司
電話 026-235-7266 (直通) 026-232-0111 (代表) 内線3275
F A X 026-235-7364 E-mail:mokuzai@pref.nagano.lg.jp



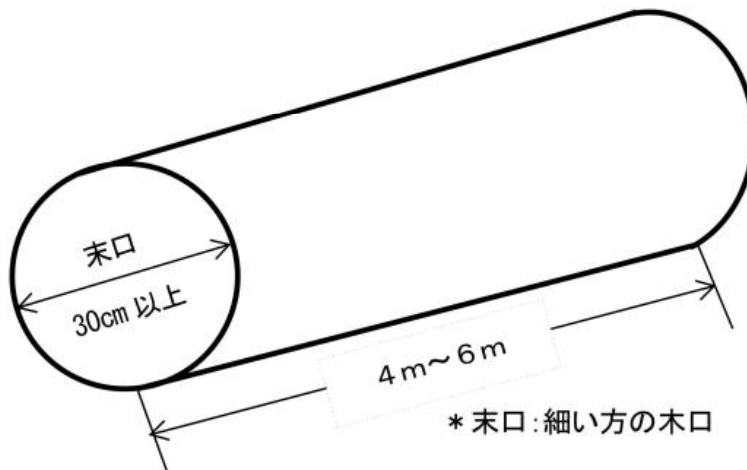
○長野県産カラマツのブランド材の規格、国有林材の供給に関すること 林野庁中部森林管理局資源活用課

(企画官) 木村 敏宏 (担当係長) 百瀬 厚
電話 026-236-2681 (直通) FAX 206-236-2686 E-mail:toshihiro_kimura720@maff.go.jp

別紙

「信州プレミアムカラマツ」の規格

- ・林 齢 80年生以上(人工林)
- ・長 さ 4m~6m
- ・直 径 30cm以上



- ・品 質 素材の日本農林規格1等、2等に相当するもの。

- ・節: 隣接2材面がないもの
- ・曲がり: 数が1個であって10%以下のもの
- ・腐れ、空洞、木口割れ、引き抜け、目まわり等の欠点が軽微なもの。